

財務4表を公表します。

神崎市では、予算や決算など市の財政状況について定期的に公表しております。今回はより総合的で詳細な内容を市民の皆様にお知らせするため、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を作成しました。これまで公表してきた内容に加え、市が関係している一部事務組合等の経営状況を含めた財務4表も作成していますので併せて公表いたします。

【連絡先】

神崎市総務企画部財政課

TEL 0952-37-0101

平成23年度

神崎市 財務4表『単体』

【基準モデル】

「単体」…………… 神崎市では、一般会計の他に、国民健康保険事業特別会計、国民健康診療所特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道特別会計、下水道事業特別会計の5つの特別会計があります。
「単体」とは、これら全ての会計を一本化し、神崎市全体分として捉え作成した財務4表です。

「基準モデル」…… 民間企業会計の会計事務と考え方を基に、地方自治体の特殊性を加味した財務書類で、開始貸借対照表を固定資産台帳に基づき作成し、現金の取引情報(歳入・歳出)に止まらず、全てのフロー情報(収益・費用・純資産の内部変動)及びストック情報(資産・負債・純資産の期末残高)を網羅的に公正価値で把握した上で、個々の取引情報を発生主義により複式記帳して作成することを前提としたものです。これにより、より精緻な財務諸表の作成が可能となります。

平成25年4月
神崎市総務企画部財政課

神崎市 平成23年度財務諸表

① 単体 貸借対照表(BS…Balance Sheet)

(単位:千円)

【資産の部】	金額	【負債の部】	金額
1. 金融資産	6,420,974	1. 流動負債	5,455,533
資金	667,998	未払金及び未払費用	3,472,003
金融資産(資金以外)	5,752,976	前受金及び前受収益	
債権	481,534	賞与引当金	116,024
税等未収金	449,235	賞与引当金	116,024
未収金	47,096	預り金(保管金等)	37,592
貸付金	15,645	公債(短期)	1,829,914
その他の債権		短期借入金	
(控除)貸倒引当金	△ 30,442	その他の流動負債	
有価証券	1,000	2. 非流動負債	22,620,422
投資等	5,270,442	公債	20,004,519
出資金	652,725	借入金	
基金・積立金	4,589,150	責任準備金	
財政調整基金	1,723,582	引当金	2,615,903
減債基金	545,847	退職給付引当金	2,615,903
その他の基金・積立金	2,319,721	損失補償等引当金	
その他の投資	28,567	その他の引当金	
2. 非金融資産	84,869,509	その他の非流動負債	
事業用資産	37,973,800	負債 合計	28,075,955
有形固定資産	37,529,206		
土地	23,440,268	【純資産の部】	金額
立木竹	235,511	財源	399,427
建物	12,182,472	資産形成充当財源(調達源泉別)	11,813,571
工作物	444,249	税収	
機械器具	119,482	社会保険料	
物品	164,972	移転収入	
船舶		公債等	
航空機		その他の財源の調達	11,739,646
その他の有形固定資産		評価・換算差額等	73,925
建設仮勘定	942,252	その他の純資産	51,001,530
無形固定資産	444,594	開始時未分析残高	51,001,530
地上権		その他の純資産	
著作権・特許権		純資産 合計	63,214,528
ソフトウェア	310,123		
電話加入権			
その他の無形固定資産	134,471		
棚卸資産			
インフラ資産	46,895,709		
公共用財産用地	19,910,020		
公共用財産施設	26,676,037		
その他の公共用財産	55,165		
公共用財産建設仮勘定	254,487		
繰延資産			
資産 合計	91,290,483	負債及び純資産 合計	91,290,483

○貸借対照表について

貸借対照表は、会計年度末(基準日)時点で、神崎市がどのような資産を保有しているのか(資産保有状況)と、その資産がどのような財源で賄われているか(財源調達状況)を表示した財務書類です。貸借対照表により、基準日時点における神崎市の財政状態(資産・負債・純資産の残高)が明らかにされます。

【資産】

資産とは、将来の収益を生み出すために保有する資金等です。市が保有している預金、有価証券、土地、建物等の財産や、ソフトウェアなどがそれにあたります。

【負債】

負債とは、将来、債権者に対する支払いや返済により神崎市から資金流出をもたらすものであり、地方債がその主たる項目です。その他、職員の退職給付引当金等が該当します。

【純資産】

純資産とは、資産と負債の差額です。従来からの市の活動によって作り出してきたものであり、市税、地方交付税、国庫補助金など将来の資金流出を伴わない財源や、資産評価差額などが計上されます。

○神崎市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

平成23年度末の「資産合計」は913億円です。「資産合計」のうち、93.0%を占めているのが非金融資産であり、その内訳を見てみると、庁舎や学校などの事業用資産が380億円、道路や公園、下水道施設などのインフラ資産が469億円となっています。

「負債合計」は281億円。そのうち地方債が200億円で全体の71.3%を占める状況にあります。

「純資産合計」を「総資産合計」で割った純資産比率は、平成22年度末が68.9%でありましたが、平成23年度末には、69.2%となりました。

○貸借対照表による主な財政分析

■ 市民一人当たり資産額

市民一人当たり資産額＝資産合計／住民基本台帳人口

H22年度＝888億54百万円／33,299人＝2,668千円

H23年度＝912億90百万円／33,093人＝2,759千円

■ 純資産比率

純資産比率＝純資産合計／資産合計

H22年度＝612億円／889億円＝68.9%

H23年度＝632億円／913億円＝69.2%

※資産合計のうち、純資産の占める割合を示します。純資産比率が高いほど将来世代の負担軽減が図られているといえます。

■ 市民一人当たり負債額

市民一人当たり負債額＝負債総額／住民基本台帳人口

H22年度＝276億67百万円／33,299人＝831千円

H23年度＝280億76百万円／33,093人＝848千円

神崎市 平成23年度財務諸表

② 単体 行政コスト計算書(PL…Profit and Loss statement)

(単位:千円)

【経常費用】	金額
1. 経常業務費用	6,488,157
①人件費	2,518,499
議員歳費	87,696
職員給料	1,425,385
賞与引当金繰入	116,024
退職給付費用	15,803
その他の人件費	873,591
②物件費	1,758,464
消耗品費	301,334
維持補修費	638,164
減価償却費	654,655
その他の物件費	164,311
③経費	1,731,234
業務費	12,090
委託費	1,507,068
貸倒引当金繰入	30,442
その他の経費	181,634
④業務関連費用	479,960
公債費(利払分)	353,027
借入金支払利息	228
資産売却損	
その他の業務関連費用	126,705
2. 移転支出	8,399,177
①他会計への移転支出	
②補助金等移転支出	6,723,906
③社会保障関係費等移転支出	1,661,897
④その他の移転支出	13,374
経常費用 合計	14,887,334
【経常収益】	金額
1. 経常業務収益	954,176
①業務収益	779,123
自己収入	741,121
その他の業務収益	38,002
②業務関連収益	175,053
受取利息等	8,536
資産売却益	249
その他の業務関連収益	166,268
経常収益 合計	954,176
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	13,933,158

○行政コスト計算書について

行政コスト計算書は、資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係る費用(経常費用)と、その行政活動の成果として受け取る使用料、手数料などの収益(経常収益)を表示した財務書類です。これにより、神埼市の行政活動のうち、資産形成に結びつかない経常的な活動について税収等で賄うべき「純経常行政コスト」が明らかにされます。

【経常費用】

経常費用とは、市が行政活動の成果を生み出すために支払う経常的な費用をいいます。人件費、庁舎等の光熱水費、道路や施設の維持補修費、また、下水道事業など特別会計への繰出金等が計上されます。

【経常収益】

経常収益には、使用料、手数料、財産貸付収入のほか預金利息等が計上されます。なお、市税等の税収については、収益としてではなく市民からの拠出として捉えるため純資産として計上します。よって、経常収益には含まれておりません。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

平成23年度の行政活動に要した「経常費用」は149億円です。その内訳を見ると補助金等移転支出が84億円で56%を占めています。また、公債費(利払分)が3億5千万円と高い金額となっております。それに対し「経常収益」が9億5千万円。「経常費用」から「経常収益」を差し引いた139億円が「純経常行政コスト」となります。なお、この「純経常行政コスト」は、純資産変動計算書において純経常費用への財源措置として計上され、行政活動が、市税や地方交付税等の税収により賄われていることが示されています。

○行政コスト計算書による主な財政分析

■ 市民一人当たり行政コスト

市民一人当たり行政コスト＝純経常行政コスト／住民基本台帳人口

H22年度＝161億36百万円／33,299人＝485千円

H23年度＝139億33百万円／33,093人＝421千円

■ 行政コスト対公共資産比率

行政コスト対公共資産比率＝

経常費用／公共資産(※貸借対照表中、有形固定資産、インフラ資産の合計)

H22年度＝171億円／829億円＝20.6%

H23年度＝149億円／844億円＝17.7%

※公共資産に対する行政コストの割合を示します。比率が高いほど資産が有効に活用されているといえます。

■ 性質別行政コスト(単位:億円)

項 目	H22	H23
人件費(職員給与、議員報酬及びその他の人件費)	27	25
物件費(消耗品や備品の購入、施設の維持補修費等)	21	18
経費(施設の維持管理委託料や保険料等)	17	17
業務関連費用(市債の利払分など)	4	5
移転支出(他会計繰出金、団体個人への補助・交付金、扶助費等)	102	84
合 計	171	149

神崎市 平成23年度財務諸表

③ 単体 純資産変動計算書(NWM…Net Worth Matrix)

(単位:千円)

前期末残高	61,186,681
I. 財源変動の部…(ア)	△ 719,713
1. 財源の使途	18,548,031
①純経常費用への財源措置	13,933,158
②固定資産形成への財源措置	2,995,658
事業用資産形成への財源措置	1,796,448
インフラ資産形成への財源措置	1,199,210
③長期金融資産形成への財源措置	818,640
④その他の財源の使途	800,575
直接資本減耗	800,575
その他財源措置	
2. 財源の調達	17,828,318
①税収	3,675,158
②社会保険料	1,092,984
③移転収入	11,375,925
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	9,717,752
国庫支出金	8,108,873
都道府県等支出金	1,608,879
市町村等支出金	
その他の移転収入	1,658,173
④その他の財源調達	1,684,251
固定資産売却収入(元本分)	47,162
長期金融資産償還収入(元本分)	181,858
その他の財源調達	1,455,231
II. 資産形成充当財源変動の部…(イ)	3,546,122
1. 固定資産の変動	2,834,508
①固定資産の減少	253,750
減価償却費・直接資本減耗相当	176,183
除売却相当額	77,567
②固定資産の増加	3,088,258
固定資産形成	2,995,658
無償所管換等	92,600
2. 長期金融資産の変動	636,782
①長期金融資産の減少	181,858
②長期金融資産の増加	818,640
3. 評価・換算差額等の変動	74,832
①評価・換算差額等の減少	3,830
再評価損	
その他評価額等減少	3,830
②評価・換算差額等の増加	78,662
再評価益	78,662
その他評価額等増加	
III. その他の純資産変動の部…(ウ)	△ 798,562
1. 開始時未分析残高の増減	△ 798,562
2. その他純資産の変動	
その他純資産の減少	
その他純資産の増加	
当期変動額合計 (ア)+(イ)+(ウ)	2,027,847
当期末残高	63,214,528

○純資産変動計算書について

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている各項目が、会計期間中にどのように変動したかを表す財務書類です。純資産の増加は、現役世代の負担によって将来世代も利用可能な資産を蓄積したことを表しますので、将来世代の負担が軽減されたことを意味します。

【財源の使途】

市税や補助金等が、どのような目的の財源となったのかを表すのもであり、純経常費用、固定資産形成、長期金融資産形成、その他に分類されます。

【財源の調達】

行政コスト計算書には計上されない資金の流入を表し、税収や国県支出金などが計上されます。

【固定資産の変動】

施設、公園、道路等の固定資産が、会計期間中にどのように増減したのかを表します。

【長期金融資産の変動】

基金、出資金、貸付金等の長期金融資産が、会計期間中にどれだけ増減したのかを表します。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

「当期末残高」632億円から「前期末残高」612億円を差し引いた20億円が、平成23年度の純資産の増加額となります。財源変動の部を見ると、税収や国県補助金等により178億円の財源を調達しましたが、185億円を純経常費用や固定資産の形成等に充てたことが分かります。また、資産形成充当財源変動の部では、固定資産の変動が28億円の増加、長期金融資産の変動が6億4千万円の増加となりました。
なお、「当期末残高」632億円は、貸借対照表の「純資産合計」と一致します。

神崎市 平成23年度財務諸表

④ 単体 資金収支計算書(CF…Cash Flow statement)

(単位:千円)

【経常的収支区分】	金額
I. 経常的収支…(ア)	2,825,697
1. 経常的支出	14,238,106
① 経常業務費用支出	5,669,446
人件費支出	2,766,734
物件費支出	1,103,809
経費支出	1,700,792
業務関連費用支出	98,111
② 移転支出	8,568,660
他会計への移転支出	
補助金等移転支出	6,893,389
社会保障関係費等移転支出	1,661,897
その他の移転支出	13,374
2. 経常的収入	17,063,803
① 租税収入	3,690,230
② 社会保険料収入	1,074,521
③ 経常業務収益収入	923,133
業務収益収入	748,330
業務関連収益収入	174,803
④ 移転収入	11,375,919
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	9,717,752
その他の移転収入	1,658,167
【資本的収支区分】	金額
II. 資本的収支…(イ)	△ 3,585,277
1. 資本的支出	3,846,297
① 固定資産形成支出	2,995,657
② 長期金融資産形成支出	818,640
③ その他の資本形成支出	32,000
2. 資本的収入	261,020
① 固定資産売却収入	47,162
② 長期金融資産償還収入	181,858
③ その他の資本処分収入	32,000
基礎的財政収支 (ア)+(イ)	△ 759,580
【財務的収支区分】	金額
III. 財務的収支	645,492
1. 財務的支出	2,149,401
① 支払利息支出	353,255
公債費(利払分)支出	353,027
借入金支払利息支出	228
② 元本償還支出	1,796,146
公債費(元本分)支出	1,796,146
公債(短期)元本償還支出	1,796,146
公債元本償還支出	
借入金元本償還支出	
短期借入金元本償還支出	
借入金元本償還支出	
その他の元本償還支出	
2. 財務的収入	2,794,893
① 公債発行収入	2,757,300
公債(短期)発行収入	
公債発行収入	2,757,300
② 借入金収入	
短期借入金収入	
借入金収入	
③ その他の財務的収入	37,593
当期資金収支額 (基礎的財政収支+財務的収支)	△ 114,088
期首資金残高	782,086
期末資金残高	667,998

○資金収支計算書について

資金収支計算書は、一会計期間における、神埼市の行政活動に伴う資金の流れを表した財務書類です。「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」という性質の異なる三つの区分に分類して表示します。

【経常的収支】

市の行政活動に伴い経常的・継続的に発生する資金の収支を表します。経常的支出には人件費や物件費、扶助費のほか補助金、交付金などが計上されます。経常的収入には税金、国県支出金、使用料や手数料などが計上されます。

【資本的収支】

市の資本形成活動に伴い、臨時的に発生する資金の収支を表します。資本的支出には工事請負費や公有財産購入費などが計上され、資本的収入には財産売払い収入等が計上されます。

【財務的収支】

市の負債に関する資金の収支を表します。財務的支出には市債の元利償還金などが計上され、財務的収入には市債の発行による収入等が計上されます。

【基礎的財政収支】

プライマリー・バランスとも言い、行政活動に伴う経費を、借入なしに賄うことができているかを判断する指標です。経常的収支と資本的収支により算出され、負債の累積を防ぐためには基礎的財政収支の黒字が必要となります。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

「期末資金残高」6億6,800万円から「期首資金残高」7億8,209万円を差し引いた、△1億1,409万円が「当期資金収支額」となり、平成23年度における資金の減少を表しています。

「基礎的財政収支」は7億5,958万円の赤字になりました。

平成23年度

神崎市 財務4表『連結』

【基準モデル】

「連結」…………… 神崎市が加入する、脊振共同塵芥処理組合、神埼地区消防事務組合、三神地区環境事務組合の財務情報を構成団体間で按分し、神崎市『単体』の財務4表と一本化させた財務4表です。これら神崎市の負担が伴う一部事務組合の財務情報を「連結」させることにより、一部事務組合が持つ資産、負債等を加味した総合的な財務4表となります。

「基準モデル」…… 民間企業会計の会計事務と考え方を基に、地方自治体の特殊性を加味した財務書類で、開始貸借対照表を固定資産台帳に基づき作成し、現金の取引情報(歳入・歳出)に止まらず、全てのフロー情報(収益・費用・純資産の内部変動)及びストック情報(資産・負債・純資産の期末残高)を網羅的に公正価値で把握した上で、個々の取引情報を発生主義により複式記帳して作成することを前提としたものです。これにより、より精緻な財務諸表の作成が可能となります。

平成25年4月
神崎市総務企画部財政課

神崎市 平成23年度財務諸表

①-1 連結 貸借対照表(BS…Balance Sheet)

(単位:千円)

【資産の部】	金額	【負債の部】	金額
1. 金融資産	6,627,425	1. 流動負債	5,624,638
資金	700,276	未払金及び未払費用	3,472,003
金融資産(資金以外)	5,927,149	前受金及び前受収益	
債権	481,534	賞与引当金	138,420
税等未収金	449,235	賞与引当金	138,420
未収金	47,096	預り金(保管金等)	37,592
貸付金	15,645	公債(短期)	1,976,623
その他の債権		短期借入金	
(控除)貸倒引当金	△ 30,442	その他の流動負債	
有価証券	1,000	2. 非流動負債	23,624,389
投資等	5,444,615	公債	20,696,153
出資金	652,725	借入金	
基金・積立金	4,763,323	責任準備金	
財政調整基金	1,779,669	引当金	2,928,236
減債基金	545,847	退職給付引当金	2,928,236
その他の基金・積立金	2,437,807	損失補償等引当金	
その他の投資	28,567	その他の引当金	
2. 非金融資産	88,805,158	その他の非流動負債	
事業用資産	38,521,079	負債 合計	29,249,027
有形固定資産	38,073,471		
土地	23,525,638	【純資産の部】	金額
立木竹	235,511	財源	3,488,453
建物	12,586,894	資産形成充当財源(調達源泉別)	11,716,997
工作物	446,409	税収	
機械器具	119,482	社会保険料	
物品	217,285	移転収入	
船舶		公債等	
航空機		その他の財源の調達	11,643,072
その他の有形固定資産		評価・換算差額等	73,925
建設仮勘定	942,252	その他の純資産	50,978,106
無形固定資産	447,608	開始時未分析残高	51,001,530
地上権		その他の純資産	△ 23,424
著作権・特許権		純資産 合計	66,183,556
ソフトウェア	313,137		
電話加入権			
その他の無形固定資産	134,471		
棚卸資産			
インフラ資産	50,284,079		
公共用財産用地	20,066,471		
公共用財産施設	29,907,956		
その他の公共用財産	55,165		
公共用財産建設仮勘定	254,487		
繰延資産			
資産 合計	95,432,583	負債及び純資産 合計	95,432,583

神崎市 平成23年度財務諸表

②-1 連結 行政コスト計算書(PL…Profit and Loss statement)

(単位:千円)

【経常費用】	金額
1. 経常業務費用	7,318,385
①人件費	2,965,748
議員歳費	87,924
職員給料	1,715,477
賞与引当金繰入	135,249
退職給付費用	50,713
その他の人件費	976,385
②物件費	1,970,367
消耗品費	372,069
維持補修費	700,181
減価償却費	684,452
その他の物件費	213,665
③経費	1,883,552
業務費	15,088
委託費	1,646,662
貸倒引当金繰入	30,442
その他の経費	191,360
④業務関連費用	498,718
公債費(利払分)	371,785
借入金支払利息	228
資産売却損	
その他の業務関連費用	126,705
2. 移転支出	7,370,636
①他会計への移転支出	
②補助金等移転支出	5,694,759
③社会保障関係費等移転支出	1,661,897
④その他の移転支出	13,980
経常費用 合計	14,689,021
【経常収益】	金額
1. 経常業務収益	996,188
①業務収益	800,396
自己収入	762,394
その他の業務収益	38,002
②業務関連収益	195,792
受取利息等	8,826
資産売却益	249
その他の業務関連収益	186,717
経常収益 合計	996,188
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	13,692,833

神埼市 平成23年度財務諸表

③-1 連結 純資産変動計算書(NWM…Net Worth Matrix)

(単位:千円)

前期末残高	64,064,063
I. 財源変動の部…(ア)	△ 508,070
1. 財源の使途	18,499,287
①純経常費用への財源措置	13,692,833
②固定資産形成への財源措置	3,000,190
事業用資産形成への財源措置	1,800,980
インフラ資産形成への財源措置	1,199,210
③長期金融資産形成への財源措置	880,433
④その他の財源の使途	925,831
直接資本減耗	925,831
その他財源措置	
2. 財源の調達	17,991,217
①税収	3,675,158
②社会保険料	1,092,984
③移転収入	11,375,925
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	9,717,752
国庫支出金	8,108,873
都道府県等支出金	1,608,879
市町村等支出金	
その他の移転収入	1,658,173
④その他の財源調達	1,847,150
固定資産売却収入(元本分)	47,162
長期金融資産償還収入(元本分)	189,704
その他の財源調達	1,610,284
II. 資産形成充当財源変動の部…(イ)	3,449,548
1. 固定資産の変動	2,683,987
①固定資産の減少	408,803
減価償却費・直接資本減耗相当	331,236
除売却相当額	77,567
②固定資産の増加	3,092,790
固定資産形成	3,000,190
無償所管換等	92,600
2. 長期金融資産の変動	690,729
①長期金融資産の減少	189,704
②長期金融資産の増加	880,433
3. 評価・換算差額等の変動	74,832
①評価・換算差額等の減少	3,830
再評価損	
その他評価額等減少	3,830
②評価・換算差額等の増加	78,662
再評価益	78,662
その他評価額等増加	
III. その他の純資産変動の部…(ウ)	△ 821,985
1. 開始時未分析残高の増減	△ 798,562
2. その他純資産の変動	△ 23,423
その他純資産の減少	32,531

神崎市 平成23年度財務諸表

その他純資産の増加	9,108
当期変動額合計 (ア)+(イ)+(ウ)	2,119,493
当期末残高	66,183,556

神崎市 平成23年度財務諸表

④-1 連結 資金収支計算書(CF…Cash Flow statement)

(単位:千円)

【経常的収支区分】	金額
I. 経常的収支…(ア)	3,105,918
1. 経常的支出	13,999,898
①経常業務費用支出	6,459,778
人件費支出	3,222,642
物件費支出	1,285,915
経費支出	1,853,110
業務関連費用支出	98,111
②移転支出	7,540,120
他会計への移転支出	5,864,242
補助金等移転支出	1,661,897
社会保障関係費等移転支出	13,981
その他の移転支出	13,981
2. 経常的収入	17,105,816
①租税収入	3,690,231
②社会保険料収入	1,074,521
③経常業務収益収入	965,145
業務収益収入	769,602
業務関連収益収入	195,543
④移転収入	11,375,919
他会計からの移転収入	9,717,752
補助金等移転収入	1,658,167
その他の移転収入	1,658,167
【資本的収支区分】	金額
II. 資本的収支…(イ)	△ 3,643,756
1. 資本的支出	3,912,622
①固定資産形成支出	3,000,189
②長期金融資産形成支出	880,433
③その他の資本形成支出	32,000
2. 資本的収入	268,866
①固定資産売却収入	47,162
②長期金融資産償還収入	189,704
③その他の資本処分収入	32,000
基礎的財政収支 (ア)+(イ)	△ 537,838
【財務的収支区分】	金額
III. 財務的収支	436,081
1. 財務的支出	2,358,840
①支払利息支出	372,013
公債費(利払分)支出	371,785
借入金支払利息支出	228
②元本償還支出	1,986,827
公債費(元本分)支出	1,986,469
公債(短期)元本償還支出	1,986,469
公債元本償還支出	
借入金元本償還支出	
短期借入金元本償還支出	
借入金元本償還支出	
その他の元本償還支出	358
2. 財務的収入	2,794,921
①公債発行収入	2,757,300
公債(短期)発行収入	2,757,300
公債発行収入	2,757,300

神崎市 平成23年度財務諸表

②借入金収入	
短期借入金収入	
借入金収入	
③その他の財務的収入	37,621
当期資金収支額（基礎的財政収支＋財務的収支）	△ 101,757
期首資金残高	802,033
期末資金残高	700,276